

地域力向上事業（助成事業）評価シート

＜平成29年度＞ （ 北区 区振興課 ）

事業名	若い世代に防災力を付け地域に活かそう			
実施団体名	北区災害ボランティアコーディネーター連絡会			
事業の目的	今後想定される災害時の対応について、スタッフの人手不足や自主防災会の高齢化などが懸念されている。小学生や高校生に知識や実演を教えることで防災意識を高めさせ、若い世代を災害時における地域の即戦力とする。			
事業の成果（内容）	<p>活動内容及び成果</p> <p>1 湖北高校防災講座 各学年に延べ8回実施した。（1年生×3回、2年生×2回、3年生×2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年生：災害について・自分の身の守り方・社会での活かし方・クロスロードゲーム ・2年生：家庭内災害図上訓練・通学災害図上訓練・クロスロードゲーム ・3年生：ワークショップ、家庭内災害図上訓練 <p>2 子供宿泊防災 小学3～6年生を対象に、集団生活から防災を学ぶための宿泊訓練を実施した。</p>			
総事業費（円）	258,635 円	補助金額（円）	103,000 円	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 北区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
4) 費用対効果	高い	普通	低い	
意見等				
<p>比較的防災教育を受ける機会が少ない世代を対象としたことで、これまで希薄であった若年層の防災意識の向上に繋がったものと認められる。また、本事業を通じて得た防災知識を家族間で共有できる仕立てとしたことで、知識を家庭や地域に還元するだけでなく、若年層が地域の防災上の新たな人材となる契機となったことは高く評価できる。</p> <p>今後は、更に多くの若年層が防災知識を得られるような取り組みとして継続されることを期待する。</p>				

地域力向上事業（助成事業）評価シート

＜平成29年度＞ （ 北区 区振興課 ）

事業名	区民参加型「命を守る」防災ワークショップ			
実施団体名	常葉大学 浜松キャンパス 社会貢献・ボランティアセンター（HUVOC）			
事業の目的	大規模災害時において、命を守るためには平常時から地域の連携が不可欠となる。大学の持つ資源を有効に活用しながら、防災活動を通して北区民の連携強化を図る。			
事業の成果（内容）	<p>活動内容及び成果</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 災害図上訓練（DIG） 117人参加 地域の関係者と学生によるDIGを通じた意見交換を実施した。 2 まち歩き・ハザードマップづくり 108人参加 現地確認で得た情報を踏まえたハザードマップを作成した。 3 防災円卓会議 108人 ハザードマップの成果報告と地域防災の課題についての話し合いを実施した。 4 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練 127人 地域団体との連携による立ち上げ訓練を実施した。 			
総事業費（円）	162,410 円	補助金額（円）	40,000 円	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 北区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
4) 費用対効果	高い	普通	低い	
意見等				
<p>本事業のこれまでの取り組みにより、住民と大学の防災面での連携体制が構築されたものと認められる。また、実践的な訓練を通じた住民の知識の向上や意識の醸成も図られている。</p> <p>今後は、本事業により構築された連携体制を、コミュニティ等の他分野へ波及されることを期待する。</p>				

地域力向上事業（助成事業）評価シート

＜平成29年度＞ （ 北区 引佐協働センター ）

事業名	直虎を契機にした「おもてなしの心」醸成事業			
実施団体名	「井の国 直虎まつり」実行委員会			
事業の目的	「井の国直虎まつり」の継続実施により、前回実績の検証を踏まえ明らかになった地域課題を解決し、井伊家ゆかりの地としての強みを持つ地域として、住民が誇りを持てるようにする。			
事業の成果（内容）	<p>1 内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「井の国直虎まつり」の開催 開催日：平成29年10月28日 開催場所：引佐総合体育館アリーナ、引佐南部中学校 <p>2 成果</p> <p>引佐地区の諸団体や中学生ボランティア、引佐地区自治会連合会などの横のつながりの構築され、それぞれのおもてなしスキルの情報交換もできた。 また、若者の積極的参加もみられた。</p>			
総事業費（円）	2,893,742 円	補助金額（円）	1,120,000 円	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 北区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
	4) 費用対効果	高い	普通	低い
意見等				
<p>多世代の住民や地域団体が連携し本事業を実施し、多くの来場者を得たことは、今後の地域づくりに必要な体制の構築に繋がったものと認められる。また、前年事業の反省を踏まえた事業の告知面や来場者の受入体制の改善も見られた。</p> <p>今後は、構築した体制や、大河ドラマの放映により高まった地域の注目度を活かした、新たな取り組みとして継続されることを期待する。</p>				

地域力向上事業（助成事業）評価シート

＜平成29年度＞ （ 北区 まちづくり推進課 ）

事業名	姫街道・直虎検定			
実施団体名	姫街道連絡協議会 姫街道未来塾			
事業の目的	直虎検定の評判が良かったため、姫街道検定と合同で実施することにより、地域のつながりを知らせる。検定を機に北区についての意識が高め、地域を大切にするように意識づける。			
事業の成果（内容）	<p>1 内容</p> <p>(1) 姫街道・直虎検定の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定期間：5月20日～11月10日 ・発行部数：8,000部 ・参加者数：69人 <p>(2) 姫街道ウォークの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：11月4日 ・参加者数：21人 <p>(3) 姫街道瓦版・検定ヒント集の発行</p> <p>2 成果</p> <p>検定の応募人数は69人と想定よりも少なかったが、8,000枚の検定用紙が全て無くなったことから関心を集めていたことがわかる。</p> <p>検定の回答の解答のために、ゆかりの地を訪れる人が多く見受けられた。</p>			
総事業費（円）	738,455 円	補助金額（円）	291,000 円	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 北区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
4) 費用対効果	高い	普通	低い	
意見等				
<p>大河ドラマの放映を適時と捉え、認知度が比較的低かった地域資源を活用した事業としては、制作した検定用紙が不足する等、注目の高さが伺えた。ただし、検定の応募者や企画したウォーキングへの参加者は少なく改善を要する。</p> <p>今後は、参加者が少なかった要因を検証したうえで、自主的な取り組みとして継続されることを期待する。</p>				

地域力向上事業（助成事業）評価シート

＜平成29年度＞ （ 北区 引佐協働センター ）

事業名	渋川の若手後継者育成事業			
実施団体名	渋川有志の会			
事業の目的	<p>過疎化や高齢化が進行する渋川地域（渋川・寺野）の地域活動の維持を目指すため、将来的な後継者となり得る渋川地域在住の若者や、間接的な地域の支援者として期待される転出した若者が介し、地域の方々と一緒に運営することができるイベントを実施する。</p>			
事業の成果（内容）	<p>1 内容 ・「渋川夏祭り」の開催 開催日：平成29年8月12日 開催場所：旧渋川小学校グラウンド</p> <p>2 成果 渋川出身・在住の若者が中心となり企画運営をしたことにより、企画段階から個人や学校関係者、自治会などによる積極的な参画を実現できた。 地域外からの演奏会を誘致したことで、地域外からの集客を考える機会できた結果、当日には150人を超える集客であった。</p>			
総事業費（円）	124,626 円	補助金額（円）	62,000 円	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 北区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
4) 費用対効果	高い	普通	低い	
意見等				
<p>地域内外の若者が中心となり、途絶えていた地域の夏祭りを新たな視点で企画・運営したことは、過疎化や高齢化が進行する中山間地域における新たな担い手を得る貴重な機会となり得たものと評価できる。</p> <p>今後は、本事業への取り組みを契機とした地域の更なる継続・発展や、同様の課題を持つ他地域への波及に期待する。</p>				

地域力向上事業（助成事業）評価シート

＜平成29年度＞ （ 北区 まちづくり推進課 ）

事業名	西気賀「マンサクの里」保全事業			
実施団体名	下村マンサク保存会			
事業の目的	1 「西気賀マンサク群落」から株分けした「マンサクの里」を地域で保全するための体制を整える。 2 一定の規模に成長した「マンサクの里」を、地域の新たな資源として広く市民に活用する。			
事業の成果（内容）	1 内容 (1) マンサク保全のための体制整備 (2) 「マンサクの里」告知活動 2 成果 (1) 保全に必要な作業（除草、下刈り、防除、枯葉落とし、整枝剪定、播種）を地域住民と共に実施することで、技術の継承ができた。 (2) ・来訪者への説明板や、マンサクの里への経路及び木の案内板などの立て看板の設置し訪れやすい仕立てにできた。 ・チラシを制作し、配布をすることでPRができた。			
総事業費（円）	230,000 円	補助金額（円）	115,000 円	
評 価	項 目	ランク		
		A	B	C
	1) 北区らしさ	高い	普通	低い
	2) 事業目的の達成度	高い	普通	低い
	3) 財政支援の必要性	高い	普通	低い
4) 費用対効果	高い	普通	低い	
意見等				
<p>地域固有の資源を後世に引き継ぐための体制の構築や、マンサクを新たな資源として捉えることによる地域活性化に寄与したものと認められる。</p> <p>今後は、担い手育成のための若年層との連携や更なる情報発信に努め、自主的な取り組みとしてのマンサクの保全に期待する。</p>				

